

株式会社永光舎 代表取締役 中嶋 洋二

パンフレットや本の表紙にフィルムを貼り付けることで本を守るラミネート加工という仕事をしています。

会社は先代の私の父親が平成元年に板橋の新河岸で創業しまして、今から 10 年くらい前の平成 24 年に父親から引き継いだ形になります。

うちは兄弟でやっているのですが、兄の検品能力がすごくて他では気づかないところを彼が気づいてくれる。印刷屋さんから届く印刷物に対しても彼が検品するのでお客さんから信頼を得ているのだと思います。また、薄紙でもカールしない技術を私が父親から引き継いでいて、商品が営業してくれるというか、製本会社さんの評判で仕事が広まっているので、そこが多分うまくいってるんじゃないかなと思います。

板橋の多くが準工業地帯で、私自身も工場から歩いて 5 分ぐらいのところに家のある地元の人間ですが、夜遅くまで仕事をしていても周りの方の理解があるのはすごく助かっています。

板橋の印刷製本業の中でオフセット岩村さんや大村製本さんがすごい頑張っているんですけど、僕も彼らに負けないように頑張らなきゃっていう気持ちがあり、僕自身は極力お客さまの要望に応える努力を怠らず、100%は難しくても 99%応えられるように取り組むことが大事だと思っています。

件数は定かではないのですが、全国に表紙のラミネート加工をする会社は 50~60 社くらいあると思います。その中でも国産にこだわってやっているのはうちも含めて 2~3 社くらいしかないと代理店の方から聞いています。

石油などの値上げやお客さまの単価が折り合わず外国産を使わざるをえない会社さんも多いと思うのですが、外国産に比べると国産の方が圧倒的にツヤが綺麗なんです。なのでうちは 99%国産を使っています。

手に取った本に光をあてて角度を変えて見ると光の反射でツヤの具合が全然違うので、皆さんには「この表紙は綺麗だな」とか、そういうふうな形で見てもらえるとすごく嬉しいです。

